

今も世にあらは



八幡宮境内の崇敬殿の前にある米内光政像の台座には、小泉信三による文章が刻まれています（米内光政の文字は米内自身の筆跡）。

米内光政氏は盛岡の人

若くして海軍に入り進んで

大将大臣に至り又内閣総理大臣となる

昭和二十年八月太平洋戦争の終局に際し

米内海軍大臣が一貫不動平和の聖断を奉じて

克くわが国土と生民を

その壊滅寸前に護つたことは

永く日本国民の忘れてはならぬところである

逝去十三年至誠沈勇のこの人

今も世にあらはの感を新たにしつつ

この文を撰ぶ

昭和三十五年十月 後進 小泉信三

